

さいたま市立大原中学校 学校だより



新しき光



さいたま市立大原中学校

TEL 048-831-5397 FAX 048-835-1357

WEB <https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/>

第2号

校訓「歴史を拓く」 学校教育目標「はつらつとした生徒、地域に輝く学校」

令和7年4月30日発行

「一員」から「一因」へ

校長 越智 宏明

新入生も中学校生活にだいぶ慣れてきた様子で、毎日校舎内には生徒たちの賑やかな声が響いています。3年生は5月19日から始まる修学旅行に向けた事前学習が大詰めを迎えています。

その修学旅行のスローガンが「ひろがれ青学年の和」に決まりました。聞いてみると、実行委員全員で話し合っただけですが、そのセンスのよさに、思わずウ〜んと唸ってしまいました。

何といても、「青学年の『輪』」ではなく、「和」とした点が素晴らしいです。「輪」は、人と人とのつながりを示す言葉で、これだけでも十分立派な目標になるはずですが、そこに「やわらく、なごむ」そして「まじわる(和える)」という意味をもつ「和」の字をあてることにより、ただ一緒に参加するだけではなく、一人ひとりのカラー(個性)を活かし調和を図っていくことで生徒全員が主役になる修学旅行を目指そうという強い意志を感じました。

実は、3年生の生徒と全く同じことを私も考えていたのです。

本年度、大原中学校の学校教育目標その努力点は、以下のとおりです。

未来の創り手として、笑顔で人と関わり、探究的な視野で将来を捉え、地域を支える一因として、主体的に貢献していこうとする心の育成

昨年度までは、二重線部のところが「地域社会の一員として」と表記されていました。この目標の具現化に向け、お祭りや避難所運営訓練に参加させていただき、地域の方とたくさんの交流をもつことができ、生徒にとっても地域を考える貴重な機会をいただきました。今年度はさらに、参加する一部(パーツ)から、地域を創る要素(ファクター)に学校を進化させていきたいと考えております。そこで敢えて、昨年度の「一員」から「一因」に表記を変更させていただいた次第です。

「学校に参加する」という考え方から、「学校自体を創り出す」という考え方へ…。この理想の下、昨年度、「大原中学校未来創造プロジェクト」を立ち上げ、制服や校則の変更について生徒自身に考えさせてきました。この理想がいつの間にか生徒たちの間にも浸透し、こうして修学旅行のスローガンにも反映されていることに、私は涙が出るほど感動し、嬉しく思っています。

毎日校長室に来る生徒たちとたくさんのお話をしますが、生徒たちは、色々なアイデアを私に語ってくれます。学校全体でテレビに出ましようとか、学校に有名人を呼びましようとか…。また、友人がこんなことで悩んでいますといった相談をしにきてくれる生徒もいます。皆、どうすれば学校が誰にとっても楽しく活気あふれるものになるか、精一杯考えてくれるのです。そんな生徒たちの姿に元気をもらおうと同時に、私自身、生徒から学ばされるのがまだまだたくさんあるのだなと感じています。



昼休みになると、毎日たくさんの生徒で校長室は賑わいます。生徒たちの明るい笑顔に癒される毎日です！